意たしい

仕事を始めたいと思ったら

クの方法を教えます。



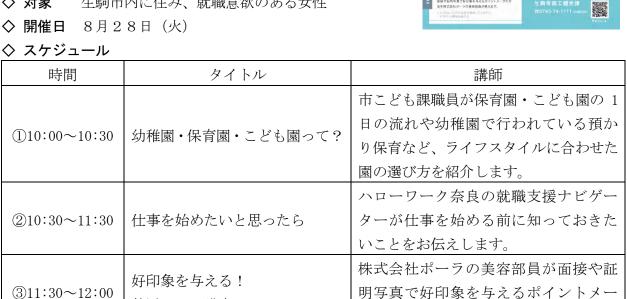
# 女性の働きたいを応援!生駒市×ハローワーク奈良 女性向け就職セミナーを開催します

生駒市では、ハローワーク奈良と共催で「女性向け就職セミナー」 を初開催します。子育ての合間に働きたいと考える女性や、子育てが 一段落して再就職を目指す女性などを対象に、仕事を始めるうえで 知っておきたいポイントを伝えます。その他、未就学児童がいる場 合、勤務中の子どもの預け先となる幼稚園・保育園・こども園の紹介 や、好印象を与えるメーク講座も実施します。

このセミナーは、平成29年度に入庁10年目の中堅職員を対象と した政策形成実践研修内で生まれた提案を事業化したものです。

## ■女性向け就職セミナー

- 生駒市内に住み、就職意欲のある女性 ◇ 対象



※ ②③は必ず受講してください。①の参加は自由です。

就活メーク講座

- ◇場所 生駒市役所4階大会議室(託児は1階和室)
- ◇ 参加予定者数 20人
- ◇ 費用 無料
- ◇ ホームページ http://www.city.ikoma.lg.jp/0000014167.html

この件に関する報道関係からのお問い合せ

女性向け就職セミナーについては、生駒市商工観光課(課長 奥田) ☎0743-74-1111(内線 321) 政策形成実践研修については、生駒市人事課(課長 鍬田)

- ☎0743-74-1111(内線 241)

# ■ 政策形成実践研修 (プロジェクトチーム)

#### ◇ 目 的

地方分権の進展により、地方自治体には、自ら学び自ら考え、主体的に行動する職員が求められるとともに、市民との協働がより一層重視されるようになっています。

生駒市では、これまで中堅職員を対象にした政策形成実践研修を実施しており、本市の課題とその解決策等を自主的なグループ活動として調査研究し、実現可能な政策の提案を求めてきました。平成27年度からは、研修ではなくプロジェクトチームとして位置づけ、調査研究に伴う環境整備に配慮するとともに、テーマ選定にあっては、各部から課題等を募集し、本市の課題解決につながる政策提案に取組んでいます。

- ◇ 研修期間 7月に行う導入研修から当該年度末まで
- ◇ 対象者 概ね入庁10年前後の職員、政策形成実践研修の未受講者から選考
- ◇ **テーマの選定** 各部からテーマを募集、研修受講者(グループ)が選択
- ◇ 導入研修 政策提案の基本的なプロセスを学ぶ機会として研修を実施し、受講を必須とする。(7月に実施)

#### ◇ 活動内容

- ・ テーマに関する調査・研究、報告書の作成、プレゼンテーションの準備
- 小人数制
- ・ 期間中、原則として勤務時間内に会議を持つ(具体的な日程は各班で調整のうえ決定する。 時間外活動は事前に人事課長の承認を得る)
- ・ 外部組織(外郭団体、事業所等)との連携を視野に入れたものとする。
- ・ 原則として事務改善は不可
- ・ 必要に応じて先進地視察可
- ◇ メンターの配置 テーマに応じて関係課の職員1名をメンターに選任
  - 原則として課長補佐級(空席の場合は係長)
  - ・ 活動期間中、資料提供及び適宜アドバイスを行う。
  - ・ 管理職(もしくは係長)のマネジメント、指導育成能力等の向上にも役立てる。

## ■ 政策形成実践研修(プロジェクトチーム)の政策提案

◇ **プロジェクト名** 「生駒の女性就業支援プロジェクト」

## ◇ メンバー

所 属 氏 名 採用年度(採用年次)

人事課 岩崎 峰大(いわさき みねひろ) 平成19年度採用(11年目)

総務課 小林 祐子 (こばやし ゆうこ) 平成 19 年度採用 (11 年目)

地域包括ケア推進課 吉村 奈緒(よしむら なお) 平成 17 年度採用(13 年目)

建築課 内海 弘貴(うつみ ひろき) 平成28年度採用(2年目)

上下水道部総務課 細井 禎子(ほそい ていこ) 平成 13 年度採用(16 年目)

※「~年目」は平成29年度当時

#### ◇ 研修期間

平成29年7月10日~平成30年2月16日(約7か月間。最終日に庁内で発表会を実施)

### ◇ テーマ選定

政策形成実践研修では、事前に各部から課題テーマを募集し、研修受講者がそのテーマを選定することになっています。今回選抜されたメンバーは子育て経験者が多いこともあり、仕事と子育ての両立支援について研究してみたいという思いから、女性就業支援をテーマにしました。

# ◇ 研修・プロジェクトの概要

生駒市における出生率の低迷は、人口減少の抑制に向けて取り組むべき最大の課題です。市 民の意識調査の結果を踏まえると、理想の子ども数を持てない最大の要因は「経済的負担」と なっており、子育て層の経済的負担を緩和することが、出生率向上に向けた最大の課題と考え られます。経済的負担の緩和には、「子育てに係る負担の軽減」と、「子育て層の経済力の向上 を図ること」の両面から支援していくことが必要です。

しかし、限られた財政状況下においては、直接的な経済支援策の新規提案には、一定の制約があると考えられます。

そこで、プロジェクトチームでは、低予算かつ現実的で持続可能な方法として、子育て層、特に女性に対する就労支援強化と、生駒市周辺の企業に対するワーク・ライフ・バランスの啓発促進をハローワークとの連携の下、取り組むことを提案しました。この取組により、子育て層の職住近接と経済力向上を推し進め、「女性が活躍しながら、安心して2人目、3人目の子どもを産み、育てられる先進的住宅都市・生駒」をめざします。

具体的には、次のような提案を行いました。

# (1) 子育て女性に対する再就職支援

参加しやすい女性向け就職支援セミナーを、ハローワークの協力のもと、開催する。

- (提案内容) ・再就職準備セミナー
  - ・市内の保育園・こども園を紹介するセミナー
  - ・図書館でハローワーク
  - メイクアップ・ヘアセミナー 等

# (2) 市内企業に対する就業環境改善の啓発

子連れで参加できる就職面接会を開催する。

- (提案内容)・求人企業によるPR
  - ・ブースに分かれて面接
  - ・イコマドを活用したオンライン面接の実施

## (3) 就業支援分野における国や県との連携強化

地域の雇用状況等に応じた支援を行うため雇用対策協定の締結

- (提案内容) ・子育て女性等の企業とのマッチング
  - ・女性活躍推進に積極的な企業の開拓・啓発
  - ・子育て女性の雇用環境改善